

◀ 事業委員会からのお知らせ ▶

☆セミナーを開催します 『2023 法令クエスト～札幌の都市計画事業～』

日時：令和5年5月12日(金) 19:00～20:30

場所：かでの2・7 1040 研修室

定員：40名

参加費：資料代200円

※CPD 認定プログラム申請中

札幌市より講師を招き、札幌の都市計画事業にまつわるセミナーを開催します。

お申込み方法は案内パンフレットを参照ください。

☆令和5年『二級建築士学科受験者講習会』

●開催日

【Ⅲ構造】 5月6日(土) 9:30～17:30

【Ⅱ法規】 5月20日(土) 9:30～17:30

【Ⅳ施工】 6月3日(土) 9:30～17:30

【Ⅰ計画】 6月17日(土) 9:30～17:30

●会場/定員 札幌市中央区大通西5丁目11 大五ビル 2階会議室/定員20名/回

●受講料 ※今年度より土曜日開催とし、科目選択が可能となりました！

・全4科目受講：8,000円(会員)、10,000円(会員外)

※1科目選択受講：2,500円/回(会員)、3,000円/回(会員外)

●テキスト ※各自で購入、各回とも持参願います。

申込書は右記のQRコードもしくは下記の

札幌支部ホームページからダウンロード出来ます。

<https://h-ab.com/sapporo>



◀ 女性委員会からのお知らせ ▶

☆『札幌市民防災センター見学会』

2023年3月にリニューアルオープンした「札幌市民防災センター」見学のご案内です。

地震・暴風・煙避難・消火・救急などの体験ができます。いま一度備えてみませんか？

日時：令和5年6月3日(土) 9:30～11:30

場所：札幌市民防災センター(札幌市白石区南郷通6丁目北2-1) 現地集合にて

参加費：無料 ※見学会後、昼食会を予定しています(費用別途)

人数：15名(先着にて)

申込：右記QRコードより(若しくは事務局までメールにて)

E-mail:hksj@h-ab.com (氏名/連絡先/会員・非会員の別をお知らせ下さい)

申込締切：令和5年5月19日(金)

◀ 情報委員会からのお知らせ ▶

☆「STREET」をメールで受け取れます！ 従来より時短で、新鮮な情報をより早くお届け！

会員の皆様には各種イベントや講習会などのご案内を毎月ペーパーにて発送しておりますが、本年中にペーパーでの配付を止め、メール配信を基本とする事としました。

メール登録でより早い情報の取得が可能になります。各イベント・講習の申込や建築士に役立つ道庁・札幌市・国交省など公的機関からの情報をいち早く発信します！

まだメール登録されていない方は、是非！下記アドレス又は、右記QRコードよりメールアドレスのご登録をお願いいたします。

<https://forms.gle/ZoqVRCTbEH5xXo4J7> グーグルフォームに接続できない方は

E-mail：hksj@h-ab.comまで、お名前とメールアドレスをお送りください。



☆北海道建築士会ホームページ“会員専用ページ”でオンデマンド配信中！

■ 視聴方法：北海道建築士会HPの「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力

■ 5月パスワード： Kit031

『失敗から学ぶ』 VOL. 17

日々の業務でヒヤリ！ハット！した情報を活用して自分をスキルアップしよう

■ 今月のテーマ：積算漏れ

■ 雑鉄骨

鉄骨造の工場で雑鉄骨が意匠図にも構造図にも記載されてなく積算漏れとなって受注者から請求された。

お客様に請求することもできず調整にとても苦労した。

※鉄骨造は雑鉄骨の積算漏れが無いように留意が必要です。

開口補強や設備架台等の非構造部材が該当し構造設計者に依頼しないと構造図から漏れることが多い。

意匠図・構造図のどちらの設計図にも記載がない場合は積算漏れになる。

建物には不可欠なもので省略することはできない。

意匠図に積算できるように仕様を記載するなど積算漏れにならないように留意する。

■ 設備図に建築工事と記載してあるが積算漏れ

設備設計図に空調機の鉄骨架台が建築工事と記載があったが、意匠設計者は何も聞いていないので意匠図に記載はなく施工図の段階で気が付いた。

※部門間の申し送り事項はお互いに確認して設計図に明記しないと記載しても積算漏れの恐れがある。

■ 昇降機設計図工事区分の別途工事の記載で積算漏れ

昇降機などの設計図は専門メーカーに設計図を依頼することが多い。

メーカー担当者と工事区分を詳細に協議し図面化しないと積算漏れになります。

※設計者は必ず設計図の工事区分表を確認し積算漏れがないか最終確認が必要です。

■ 積算漏れを防ぐ方法

- ・設計チーム部門間（意匠・構造・設備）で取り合い部の情報を共有する。
- ・設計図に工事区分表を記載して積算根拠を明確にして各部門で共有する。
- ・設計者は請負契約前に内訳明細書を最終確認する。

自習型認定研修の設問



設問 1

雑鉄骨で正しいのはどれか？

- a. 当然必要な部材なので設計図に記載が無くても請負工事費に含む。
- b. 追加工事で発注者が支払う。
- c. 設計者が漏れなく設計図に記載する。

設問 2

積算漏れで正しいのはどれか？

- a. 設計図起因の積算漏れは設計者の責任
- b. 設計図に記載が無くても当然必要なものは積算漏れに該当しない。
- c. 積算漏れは発注者に負担してもらう。

認定教材の設問への回答は、CPD 情報システムのページ <https://jaeic-cpd.jp/> にアクセスのうえ、お願いします。
※不正の場合は、単位に登録できない場合があります。